

MA-WIHシリーズ



io
minuto

最初に
ご確認ください

セット
内容

マウス本体 1台
コンパクト直付け
レシーバー 1台
単4電池(テスト用) 2本
変換アダプタ..... 1個
取扱説明書 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

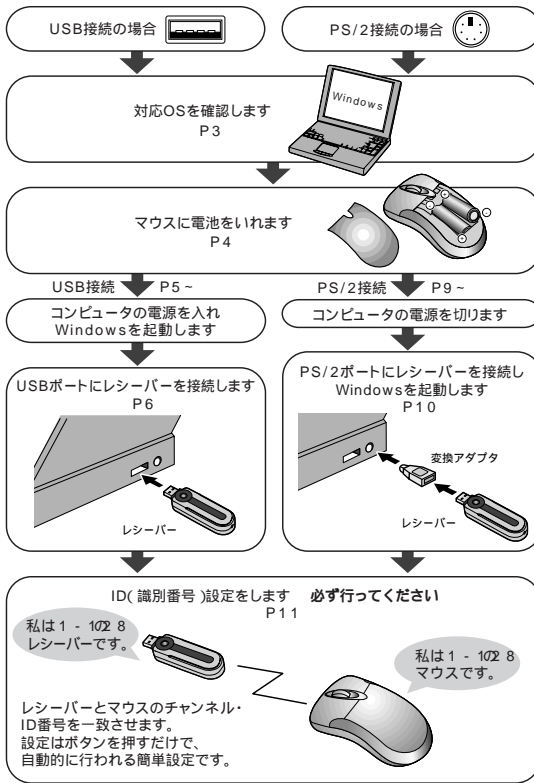
サンワサプライ株式会社

目次

1	ワイヤレスマウスの接続手順
2	特長 警告
3	・テレビ/ラジオの受信障害について ・注 意
4	対応機種・対応OS
5	マウスの準備(電池の入れ方) マウスの接続(USB接続の場合)
6	・本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)
7	・USBポートによる接続 ・USBポートによる接続(Mac OS Xの場合)
9	マウスの接続(PS/2接続の場合)
10	・本製品をPS/2マウスポート接続する際の注意
11	・PS/2マウスポートによる接続
12	ID(チャンネル)の設定方法 必ず行ってください 本製品の使用方法
13	・左ボタン・右ボタン ・ホイール(スクロール) ・ホイールボタン(スクロールボタン) ・スーム ご使用上の注意
14	・Windows Meで本製品をお使いになれる場合 ・Windows Me/98SE/98でご利用の場合 「故障かな...と思ったら」 保証規定

ワイヤレスマウスの接続手順

マウスを接続するポートにより異なります



詳細は各ページをご覧ください。

特長

この度は、RFイオミヌートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、コンパクト直付けレシーバーなのでデスク周りもスッキリ、電池式小型タイプなので、携帯・モバイルにも便利です。ボールを使わないオプティカル方式(光学式)で、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。

本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールヤスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

別売:充電キット

クレードル(充電器)での充電をご希望の方は、別売の充電キットをお求めください。

型番:MA-WICH RFイオミヌート用充電キット

・充電器・ACアダプタ・単4充電電池×2本

注意 充電式として使用される場合は、充電キットに付属の充電電池を必ずご使用ください。アルカリ/マンガン乾電池を使用して充電されますと、マウス及び充電器が壊れます。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所からコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ

Apple iMac、iBook、Power Mac G5/G4/G3シリーズ

USBポート(Aタイプコネクタ)もしくはPS/2マウスポートを持つ機種。

PS/2接続の場合は、内蔵ポインティングデバイスとの併用はできません。内蔵ポインティングデバイスを使わない様に設定できない場合は、USB接続してください。

対応OS

USB接続:Windows XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X(10.2以降)

Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる操作はサポートしません。

Mac OS 8.6～9.2.2でご使用の際は、当社ホームページ <http://www.sanwa.co.jp/> よりドライバをダウンロードしてください。

PS/2接続:Windows XP・2000・Me・98SE¹・98¹・95¹・NT4.0(SP3以降)¹
¹ IntelliMouse機能(Office 97など)を持たないアプリケーションでスクロール機能をご使用になられる場合は、当社ホームページ<http://www.sanwa.co.jp/> よりドライバをダウンロードしてください。

機種により対応できないものもあります。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

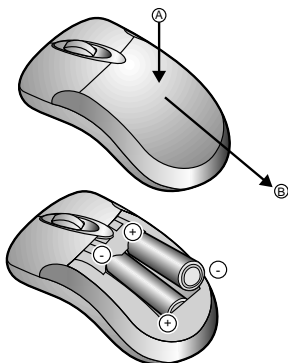
マウスの準備 (電池の入れ方)

1. マウス上面の電池カバーを押さながら(Ⓐ)、手前にスライドし(Ⓑ)、取り外ししてください。マウスに付属の単4電池を2本入れ、電池カバーを取り外したのとは逆の方向にスライドさせ、取り付けてください。
電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)
電池カバーを開ける際、硬い場合がありますので、その際は(Ⓐ)を強めに押しながらカバーを開けてください。
2. マウス裏面の電池をONにします。
長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際などに光学式センサーが点灯していると、電池が消耗しますので、電源をOFFにすることをオススメします。
マウスの電池は、通常の使い方において約1ヶ月が目安になっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単4アルカリ乾電池をご使用ください。

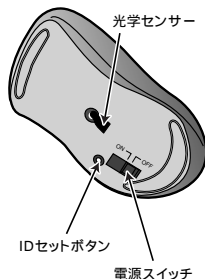
注意

別売りの充電キットを充電式として使用される場合は、充電キットに付属の充電電池を必ずご使用ください。アルカリ/マンガン乾電池を使用して充電されると、マウス及び充電器が壊れます。

マウス上面



マウス裏面



4

マウスの接続 (USB接続の場合)

本製品をUSBポート接続する際の注意 (Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合 (Windowsの場合)

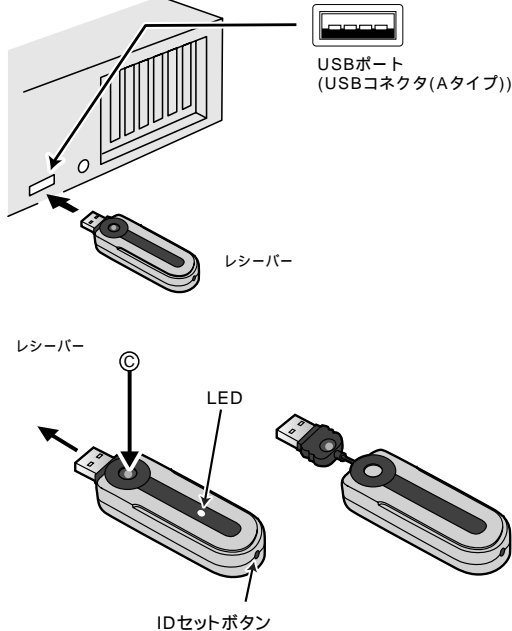
BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

5

マウスの接続 (USB接続のつづき)

USBポートによる接続(Windowsの場合)

注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお薦めします。コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。USBポートに直付けレシーバーが接続しにくい場合、レシーバーの(●)を親指で軽く押しながら、USBコネクタをスライドさせて外して接続してください。(USBコネクタをスライドさせて外す際、極端に力を加えないでください。ケーブルの断線の原因になります。)



マウスの接続 (USB接続のつづき)

自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Windows XP・2000・Meは、下記インストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

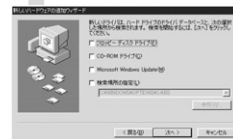
新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



検索方法を選択してください。
● 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れずに ----- 次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、
✓ 検索場所の設定 (L)

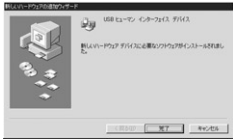
C:¥WINDOWS¥INF

もしくは、
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
もし、上記の検索場所ですらドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。

マウスの接続 (USB接続のつづき)



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

接続が完了したら、ID設定方法(11ページ)へ。

USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
接続が完了したら、ID設定を行います。(11ページへ)
Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
Mac OS 8.6～9.2.2でご使用の際は、当社ホームページ <http://www.sanwa.co.jp/> よりドライバをダウンロードしてください。

マウスの接続 (PS/2接続の場合)

本製品をPS/2マウスポート接続する際の注意

ノートパソコンに本製品を接続する前に、内蔵ポインティングデバイスの切り離しを行ってください。

タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2スクロールマウスと併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・

SHARP Mebiusシリーズの場合

1. 起動時、NEC ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押してください。
2. 詳細 NX/パッドを自動にしてください。
以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。

ソニー VAIOシリーズの場合

コントロールパネル Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。

東芝 Dynabookシリーズの場合

スタート プログラム 東芝ユーティリティあるいは、ハードウェアセットアップ ハードオプション ポインティング装置で自動あるいはオフにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵のノートパソコン(配置制御機能のないタイプ)及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど(USBキーボードにPS/2マウスポートがついているパソコン)には、USB接続により対応しています。

詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますのでご注意ください。

マウスの接続 (PS/2接続の続き)

PS/2マウスポートによる接続

注意: レシーバーを接続の際、コネクタには上下がありますのでご注意ください。

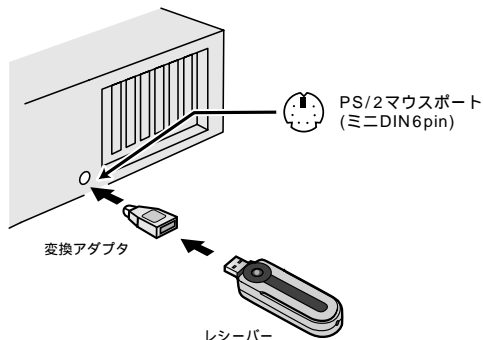
コンピュータの電源を切ってください。

コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。

付属の変換アダプタを使用して、レシーバーをコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。

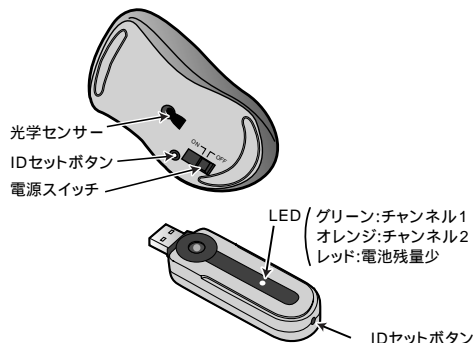
接続が完了したら、ID設定方法へ。



10

ID (チャンネル) の設定方法 必ず行ってください。

レシーバーの接続が完了したら、次にチャンネル及びID番号を設定します。



チャンネル及びID番号を設定する前に、(マウス裏面の光学センサー)が点灯していることを確認します。もし、点灯していない場合は、(電源スイッチ)がONになっているか確認します。それでも点灯しない場合は、電池が正しく入っているか確認してください。

1. ペン先等を使って (レシーバーのIDセットボタン)を押します。
2. (レシーバーのLED)がグリーンもしくはオレンジに点滅します。
3. (レシーバーのLED)が点滅している間に、(マウス裏面のIDセットボタン)を押します。
4. (レシーバーのLED)がグリーンからオレンジ、もしくはオレンジからグリーンに変わって、3～4秒間早く点滅します。
5. マウスが認識されたら、(レシーバーのLED)が消灯します。
6. これで設定は終了です。マウスを動かしても、マウスポインタが動かない場合は、再度上記の設定を行ってみてください。
7. これでマウスは使えるようになりました。Windowsが標準で持っているマウスドライバで、スクロールモードもご使用になれます。マウスを動かした際、レシーバーのLEDがグリーンに点灯する場合はチャンネル1、オレンジに点灯する場合はチャンネル2に設定されています。またレッドに点灯する場合は電池が少なくなっています。

チャンネル(CH1もしくはCH2)はID設定で交互に、ID番号(1～256)は自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。

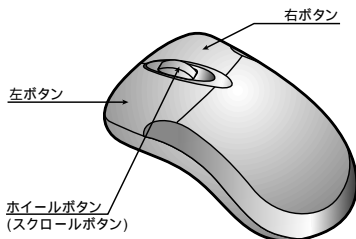
パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源スイッチをON-OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。

11

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。

本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



注意

本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。

このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。

ご使用上の注意

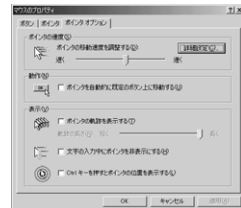
本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

Windows Meで本製品をお使いになれる場合

「コントロールパネル」 「マウスのプロパティ」 「ポインタオプション」 「詳細設定」の「ポインタの加速度(A)のチェックマーク(✓)を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

Windows Me/98 SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



「故障かな...と思ったら」

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウス裏面の光学センサーが光っていない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(4ページ参照)
2. レシーバー及びマウスのID(チャンネル)が正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は11ページ参照)
3. 光学センサーが光らない場合、電池寿命がもしませませんので、電池を交換してみてください。付属の電池(アルカリ単3電池×2本)はテスト用です。(4ページ参照)
4. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、レシーバーのUSBコネクタをケースから外した状態(6ページ)でパソコン本体に接続し、ケースの角度を変えてみてください。もしくは、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. マウスをしばらく操作しないと、動き始めた際に少し時間がかかる。

1. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

「故障かな...と思ったら」(続き)

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

- A. 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上で
ご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
- 2.他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、チャンネル及びID
番号の設定をやり直してみてください。
- 3.レーザーとマウスの距離を調整してみてください。レーザーとマウスの
距離は、0.2m - 1mの間でご使用ください。
- 4.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合があり
ますので、新聞やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
- 5.ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操
作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソ
コンの上から取り除いてみてください。
- 6.マウスを動かした際、レーザーのLEDがレッドに点灯する場合は、電池を交
換してください。
- 7.レーザーをパソコン背面に直付している場合、レーザーのUSBコネク
タをケースから外した状態(6ページ)でパソコン本体に接続し、ケースの角度
を変えてみてください。もしくは、別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、
レーザーを見える位置へ出してください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトゥルーカラーを選択するとスクロー
ルの動きがおかしくなった。

- A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
- 2.トゥルーハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。
このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期
間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商
品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
保証書をご提示いただけない場合。
所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
故障の原因が取り扱えない場合。
お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理
もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責
を負わないものとします。
- 5)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担とな
ります。
- 6)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7)保証書は日本国内においてのみ有効です。